

札幌市立山の手南小学校の取組

(学校ホームページ <http://www.yamanoteminami-e.sapporo-c.ed.jp/>)

1. 学校の実態・地域性等

本校は旧国道五号線と北一条通りに挟まれた地域で、その間を山の手通りも走り、交通量の多い地域である。本校児童の通学がもっとも多い主要な通学路はもちろん、ほとんどの通学路が幅員が狭いうえに車の通行量が多いという実態を抱えている。児童の安全を守るためにも地域と一体となった安全指導や、冬の雪対策に大きな力を注いできている。通学路を中心とした地域の排雪を増やし子どもたちが安全に登校できる環境作りの一環として平成 14 年度からは地域の生活道路の雪をグラウンド内に受け入れる地域排雪にも協力している。

また本校では、平成 21 年度からの「札幌らしい特色ある学校教育」の取組開始より生活科・総合的な学習の時間を活用して「雪」に関する実践を積み重ねてきている。継続的に取り組む中で無理なく学習が進められるようになってきている。

このような地域の実態、学習環境の中、今年度の「雪に関する学習活動実践研究」では地域と一体となって雪の学習に取り組む方策をさぐってきた。以下に今年度の取組を報告する。

2. 実践 I

1 単元名

学校全体の取組、地域との連携 「山の手南雪あかりのみち」

3 年生 総合的な学習の時間 「雪とあくしゅHOT COM.」

2 単元の目標

雪や寒さに興味関心をもち、それらを生かして、スノーキャンドルや、アイスキャンドルなどの作り方を調べて作る。

スノーキャンドルやアイスキャンドルを制作し「山の手南雪あかりのみち2014」を行う。

3 取組の様子



雪明かりの路、スノーキャンドル調べ

小樽の雪あかりの路や、地域でスノーキャンドルを見た経験などを話し合い、どんな「山の手南雪あかりのみち」を作りたいか話し合った。

実際の活動の様子

- ・雪対策室から活動の支援をいただいた用具（バケツ20個、キャンドル200個）を活用してスノーキャンドルを作成。
- ・バケツで雪を運び、雪山を積み上げて、キャンドル台を作成。
- ・スノーキャンドルを150個程度作成し、正門前に並べ「山の手南雪あかりのみち2014」を開催した。
2014年2月21日(金)

4 実践のまとめ

昨年に引き続いての活動であったため、昨年度のノウハウが生き、スムーズに活動できた。

アイスキャンドルに比べてスノーキャンドルは子どもでも比較的作りやすく、たくさんキャンドルを作ることができ、地域の方々や保護者にも大変好評だった。キャンドルに点灯した当日は少なくとも 100 名以上の地域住民、保護者、児童が訪れ、実際に作った子どもたちにとっても大変満足感のある活動となった。雪対策室の支援に心から感謝する。

3. 実践 II

1 取組名

学校全体の取組 雪遊びワンダーランド

2 取組の目標

学校全体の取組として一年間を通して行っている 体力向上の取組の一環として、積極的な外遊びを奨励している。そのためにボブスレーをたくさん用意し外遊びに行きたくなるような環境を整える

3 取組にむけて

① 実践校予算を使ってプラスチック製のボブスレーを 20 台購入。

子どもでも扱いやすいミニスコップ（70cm程度）を 10 本購入。更に 10 本を雪対策室より支援していただき、休み時間のワンダーランドでの遊びや、生活科の学習、スキー授業終了後に活用。



これまでは、冬期間なかなか外遊びにいかない子が多い状況が見られていた。今回、ボブスレーを購入したことにより、休み時間に元気にそり滑りをする子も多くなり、子どもの外遊びが少し増えたことが成果としてあげられる。

また、生活科の学習の延長として、購入したミニスコップを使いワンダーランドでの作業をする子も多かった。子どもにとっては、この70cm前後のミニスコップが作業的に大変使いやすい様で、楽しみながら作業する姿が見られた。

4. 実践 III

1 単元名

外部講師招聘

- ① 4～6年 総合的な学習の時間 「雪育先生特別授業」
- ② 4年 社会科 札幌市の除雪 「除雪にたずさわる人
大成ロテック阿部さん 特別授業」
- ③ 4年 社会科 札幌市の除雪 「除雪車試乗体験会」
- ④ 5年 理科 雪を降らせる天気 「雪博士特別授業」

2 取組の目標

地域で活躍する人や、専門家からの話や体験活動を通して、雪について多面的、多角的に考える機会を設定することで、雪や寒さに興味関心をもち自分たちの生活に生かしていこうとする態度を育てていく。

3 取組の様子

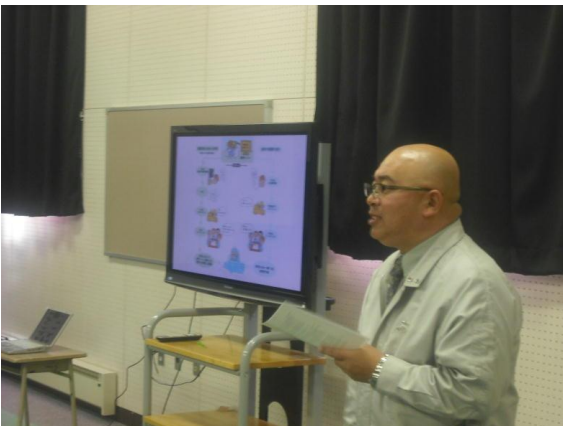
- ① 4～6年 「雪育先生特別授業」 平成25年10月1日(火)



雪育先生授業キャラバンとして活動している、プロスキーヤーの児玉毅さん、井山敬介さん、DAIGOさんの3名に來校いただき特別授業を実施した。

DVD、スライド、体験活動、クイズなどを通して、「雪の素晴らしさ」「スキーの魅力」について語っていただいた。

- ② 4年 社会科 札幌市の除雪 「除雪にたずさわる人 大成ロテック阿部さん 特別授業」
平成25年11月27日(水)



山の手南小校区の除雪を担当している大成ロテックの安部さんに来ていただいて、下記の5点を中心にお話しいただいた。

- どのように除雪をしているのか
- 除雪作業員の一日
- 除雪作業に従事していて大変なこと
- 仕事の上での苦勞。
- 作業中に気をつけていること

札幌市の除雪に実際に携わっている人々がどんな努力で除雪事業に携わっているかを浮き彫りにできた。、作業員の一日のサイクルや、苦勞などを聞いていく中から、除雪業者が大変な苦勞をしながら除雪を行っているということについて、子どもたちが実感を伴いながらとらえることができた。

- ③ 4年 社会科 札幌市の除雪 「除雪車試乗体験会」 平成25年12月20日(金)



例年行っている4年生を対象とした体験会を西区土木部、大成ロテックのご協力をいただき、今年度も開催することができた。

今年度は、スケジュールの関係で、単元のまとめをする段階での体験会になってしまったが、学習した内容を自分の目で見て、体験することで、子どもの興味関心が一層広がるような体験会になった。

④ 5年 理科 雪を降らせる天気

北海道教育大学教授 高橋教授特別授業

(北海道雪プロジェクト代表) 平成26年2月28日(金)

5年生の理科において、「天気の変化～冬の天気」環として「雪を降らせる天気」について学習した。

その中で、高橋教授には、特に冬の天気として特徴的な日本海の雪雲についてのお話をいただいた。

○雪雲は日本海で作られること。

・ 気象衛星の雲の動きの動画

○日本海から筋状の雲が流れ込んできて、雪を降らせる様子の説明 ・ 石狩湾上空の雪雲動画

○人工雪の成長の様子

○雪の結晶の描き方

○雪の結晶の種類と気温によってできる結晶の違い



5. 研究のまとめ

本校では全学年で以下のように雪にかかわる学習を計画し、取組を進めている。

1年「ふゆとなかよし」・・・【生活科】

2年「スノーフェスティバル」・・・【生活科】

3年「山の手南雪あかりのみち」・・・【総合的な学習の時間】

4年「除雪車体験」「札幌市雪対策室出前授業」・・・【社会】札幌市の除雪

「雪HOT COM.」・・・雪と暮らすお話し発表会への出品・・・【総合的な学習の時間】

5年「雪HOT COM.」・・・雪と暮らすお話し発表会での発表・・・【総合的な学習の時間】（希望者）

6年「奉仕活動」・・・雪かき、雪払い、砂まき等々・・・【特別活動】

本校においては、これまで様々な形で雪にかかわる実践を行なってきたが、今年度は特に3つの事例を取り上げて報告した。

実践Ⅰでは3年の「山の手南雪あかりのみち」を取り上げた。取組も2年目となり、多くの保護者が来場する本校ならではの取組となった。子どもたちも自分達で作ったスノーキャンドルを大切に思う気持ちを持ち、特色ある地域のイベントとして取り組んでいた。今後については、保護者や地域との連携をどう図っていくかということについて考えていきたい。

実践Ⅱでは休み時間等を利用した取組について取り上げた。冬期間の体力向上の取組の一環として「外に出たくなる」環境作りに取り組んだ。ただ、今年度整備したボブスレーの台数には限りがあったので、今後ふやしていきながら、日常的に子どもたちが冬期間も外遊びできるような環境を考えていきたい。地域排雪を受け入れている本校であることから、今後は除雪業者との連携により、「雪遊び」専用の雪山の整備などについても実施することができれば、環境面で子どもたちの一層の支えとなると考えている。

実践Ⅲでは様々な外部招聘講師の特別授業や体験会について取り上げた。外部講師を活用することで、4年生や、5年生の調べ学習がより深まった。それぞれの講師を紹介することも可能なので、本校に問い合わせいただきたい。

今後は、より環境を整えることで子どもたちの外遊びをふやし、体力向上につなげていきたい。また、外部講師や地域、業者、行政との連携を図りながら、今後も子どもたちが雪に親しみ、雪を通して学びを深められるような取組を続けていきたい。